

明治大学商学部高橋ゼミとの意見交換会

日程 ⇒	2014年10月10日(金) 14:40~16:10
会場 ⇒	明治大学和泉校舎 601
参加者 ⇒	商学部高橋ゼミ生 19名、高橋教授 石油連盟：1名 NACS環境委員会：2名

学生19名のうち、普通自動車免許保有者は7名、石油ストーブ保有(自宅)1名とのことであり、自分だもの生活に石油が深く関わっているという実感はない様子であった。

まず石連より「石油産業の現状と安定供給への取り組みについて」と題して、平時における石油の安定供給のための石油の調達先の紹介と石油備蓄の現状、次に震災時の状況とその後の対応についての説明があった。

次に1972年~2014年における国際的な原油価格の長期的推移状況、将来の世界石油需要の見通しが紹介された。

商学部の学生ということで、マーケティング・コミュニケーションの観点から、石油に関する意見交換を試みたが、消費者としての石油との接点がなかなかイメージできないためか、活発な議論の場にはならなかった。今後の課題として、石油に関する啓発活動の一層の必要性を感じた。

